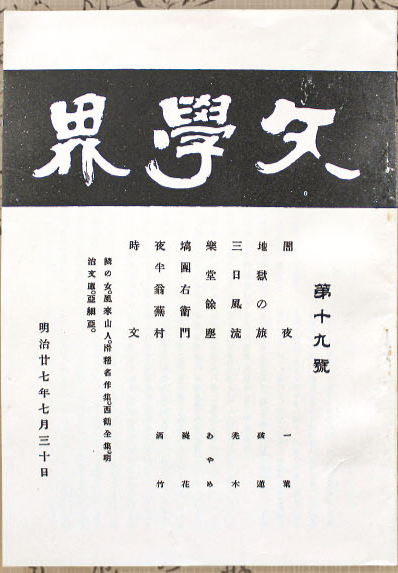


相州箱根蓋の湖 ● 全塔の澤 …… 一頁  
 凱旋門 …… 二頁  
 新橋停車場大線門 ● 凱旋門前より新築司法省を望む ● 日比谷原凱旋門 ● 宮城外二重橋軍體の凱旋門  
 外人科小  
 泉鏡花  
 乙羽菴主人  
 京の葉兵衛  
 一葉女史  
 梅痴居士  
 露葉  
 新浮世床 ……  
 経つくゑ ……  
 敵味方冥土出會 ……  
 つげ貝 ……

台東区立一葉記念館特別展

樋口一葉と

明治の文芸雑誌



闇夜 (その一)  
 ままわしたる邸の廣さは幾ば  
 大門は何年ぞやの暴風雨を  
 ぶく、松ばなけれど瓦に生  
 誰れどか、男鹿やなくべき



令和元年 11月2日 [土] ~ 令和2年 1月26日 [日]

開館時間 9:00~16:30 (入館は16:00まで)  
 休館日 毎週月曜日 (祝休日の場合は翌平日)、年末年始  
 ※展示替えのため10月28日(月)~11月1日(金)、令和2年1月27日(月)~31日(金)は休館いたします。  
 入場料 一般300円(200円)、小中高生100円(50円)  
 ※ ( ) 内は20名以上の団体料金  
 ※ 障害者手帳または特定疾患医療受給者証をお持ちの方とその介助者は無料  
 主催 公益財団法人 台東区芸術文化財団

- 1 『武蔵野』第2編 (明治25年)
- 2 『文芸界』第19号 (明治27年)
- 3 『文芸倶楽部』第12編臨時増刊『閑秀小説』 (明治28年)

台東区立一葉記念館

〒110-0012 東京都台東区竜泉3-18-4 TEL03-3873-0004  
<http://www.taitocity.net/zaidan/ichiyu/>





台東区立一葉記念館特別展

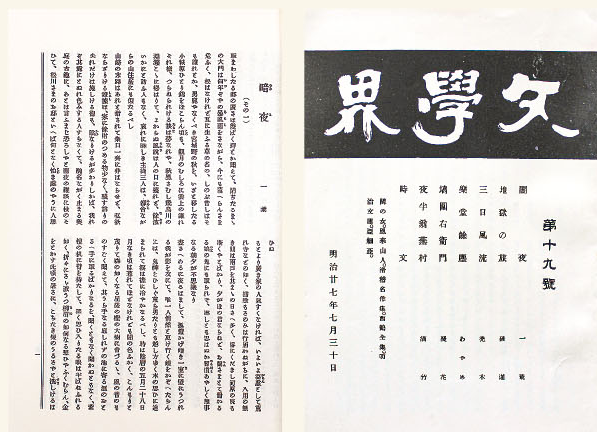
# 樋口一葉と明治の文芸雑誌

今も読み継がれている一葉の小説の多くは、当初、さまざまな雑誌に掲載されました。当時の文芸雑誌のページを繰ると、旧字・旧かな使用の活字や著名な画家が描いた挿絵など、後に数多く編まれた全集や文庫本などとは異なる、発表されたままの作品を読むことができます。

本展では、一葉の作品が世に出た当時の読者が実際に目にした、明治時代の文芸雑誌をご紹介します。



『都之花』第101号「曉月夜」挿絵(明治26年)  
富岡永洗(号・藻斎)画



『文学界』第19号「暗夜」の冒頭部分(明治27年)

表紙の題名は「闇夜」となっている。『文藝倶楽部』第12編臨時増刊「闇秀小説」に再掲された際に「やみ夜」と改められた

Table of contents for '文藝倶楽部' magazine, Volume 1, Issue 6, No. 12 (临时増刊). It lists various articles and authors, including Iwano's '経つくえ' and 'やみ夜'.



『文藝倶楽部』第12編臨時増刊「闇秀小説」の巻頭写真(明治28年)  
右・小金井喜美子、左・若松賤子  
左下・樋口一葉

『文藝倶楽部』第1巻第6編目次(明治28年)

泉鏡花「外科室」、一葉「経つくえ」が掲載されている

《おもな展示雑誌》\*( )内は掲載された一葉作品

- 『武蔵野』(「闇桜」「たま櫛」「五月雨」)
- 『都之花』(「うれ木」「曉月夜」)
- 『文学界』(「雪の日」「琴の音」「花ごもり」「暗夜」「大つごもり」「たけくらべ」)
- 『文藝倶楽部』(「経つくえ」「やみ夜」「うつせみ」再掲、「たけくらべ」一括掲載、「にぎりえ」「十三夜」「われから」)
- 『太陽』(「大つごもり」再掲、「ゆく雲」)
- 『めさまし草』〈好評「三人冗語」「雲中語」～一葉の作品評〉

## 期間内のイベント

### 文化カレッジII 「一葉と向田邦子」

要申込

日時：令和2年1月25日(土)13:30～

講師：鴨下信一氏(プロデューサー・演出家)

定員：60名(抽選)

参加費：1,000円(当日払い、別途入館料が必要)

#### 申込方法

往復ハガキの往信用裏面に、①イベント名(文化カレッジII) ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号、返信用表面に、住所・氏名をご記入のうえ、下記あてに郵送してください。

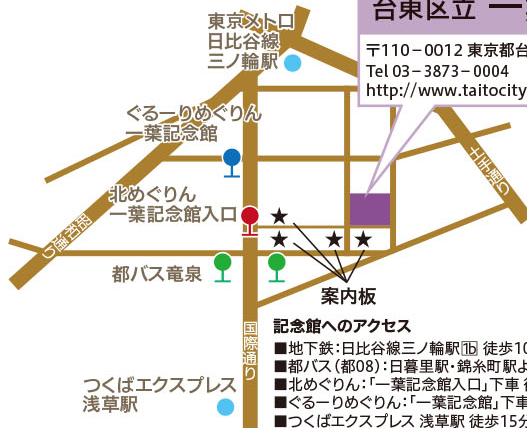
〈宛先〉〒110-0012 東京都台東区竜泉3-18-4

台東区立一葉記念館「文化カレッジII」係

〈申込締切日〉令和元年12月20日(金)〈必着〉

## 台東区立一葉記念館

〒110-0012 東京都台東区竜泉3-18-4  
Tel 03-3873-0004  
<http://www.taitocity.net/zaidan/ichiyo>



HP

#### 記念館へのアクセス

- 地下鉄：日比谷線三ノ輪駅 徒歩10分
- 都バス(都08)：日暮里駅・錦糸町駅より「竜泉」下車 徒歩3分
- 北めぐりん：「一葉記念館入口」下車 徒歩2分
- ぐるーりめぐりん：「一葉記念館」下車 徒歩5分
- つくばエクスプレス 浅草駅 徒歩15分